

2014 年多摩大学 Presents フットサル教室

杉田ゼミフットサル班

中井響(21211239kn@tama.ac.jp) 宮永崇史 上田翔平 長谷川太

意図・目的

- ①フットサル体験を通じて、ボールを蹴ることの大切さを知ってもらう。
- ②子供たちとその親が多摩大学に訪れる機会を作る
- ③子供たちへのフットサル認知
- ④多摩大学フットサル部自体の認知向上

実施

2014/11/30 AM9:30~AM11:00

天候：晴れ 対象：小学 1~3 年生 参加者数：24 名 学生数：20 名

内容

メニュー（目標・ねらい）

- ・ウォームアップ（手つなぎ鬼） ・対面パス（足裏のコントロールを意識）
- ・シュート（小さいゴールにシュートを決めることを意識）
- ・ミニゲーム（練習でやったことを生かしてみんなで勝つ）

結果

フットサル教室終了後に父兄の方々にアンケートを実施し、全 4 項目を 5 段階で評価を頂いた。

- ①この教室は有意義であったか ……平均 4.4 点
- ②また参加したいか ……平均 4.5 点
- ③友達を誘いたいのか ……平均 4.3 点
- ④多摩大学を知っているか ……平均 3.6 点

アンケートの結果から見ると、フットサル教室自体の満足度は高く、また開催してほしいという声も。

しかし、多摩大学自体の認知度が低いという結果が出た。

今後の発展

- ・イベント自体の時間をもう少し長くしてより楽しんでもらう時間を延ばす。
- ・多摩大学の認知度向上。

今後の発展（案）

今回はサッカーをプレーしている子供たちに向けてだったが、今後はサッカー、フットサル経験の無い子供たちや女の子に向けて実施してみる。または、我々が学校に訪問し、訪問先で教室を行ってみる。